

# ボランティア 交差点

みんなが笑顔で安心、安全に暮らせるまちを目指す

## ～生活支援事業～

### 青峰校区社会福祉協議会

(会長 内野壽雄)



青峰校区社会福祉協議会では、ふれあい訪問活動、生活支援事業を活動の基本として、校区の状況及び住民の福祉ニーズに対応し、「みんなが笑顔で安心、安全に暮らせるまち」を目指すとこの理念のもと、活動を行っています。



あじさい食事会

しかし、青峰校区は市内でも、高齢化率が比較的高く、高台を開発した集合住宅を中心とした地域特性も相まって、「今後も安心して暮らしていけるのか?」、「今、住民参加の新たな支え合いのシステムを作らなければ、数年後の我々の生活はどうなるのか?」という不安や危機感が生まれていました。

「高齢者の生活意欲の低

#### 障害児と学生ボランティアの交流企画

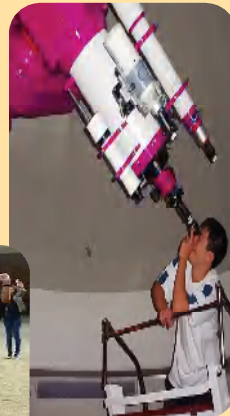
9/22・9/23 久留米市サマーデイキャンプ実行委員会は、福岡市立脊振少年自然の家で、障害をもった子どもたちと、学生ボランティアの交流を目的とした事業を行いました。

「キイラック」できました▶



▲焼き杉によるキイラック作り

朝のつどい・ラジオ体操▶



▲天体観測

下防止、「受益者負担」、「事業の継続」の3つの原則のもと、ゴミ出しや買い物支援などの支援活動を有償サービスとして行っています。

現在、青峰校区ではこの支え合いの事業を推進していくために、協力していただけの会員をさらに増やそうと検討しています。校区の皆さんにとっては、住民同士気軽にお願いできるこの事業が「ある」というだけで生まれる安心感があり、この安心感が青峰に住む皆さんの支えとなっています。